

# 委員会活動報告

## 総務文教常任委員会

### 町内所管事務調査（平成26年8月6日）



当別長生会での新築工事の概要説明



当別長寿園の視察



防災図上訓練の視察

### 主な質疑内容

### 平成26年第4回定例会関係（平成26年9月10日）

#### 総務部関係

Q 庁舎階段部分の天井の剥離した修理費用であるが、今後、同様の場所を点検していく考えなのか。

A 今回の天井剥離により、同様の施工している箇所は剥がして全て修理している。

Q 除雪の委託が増えているが場所はどこなのか。

A 役場庁舎の除雪の委託である。

#### 企画部関係

Q 大学と連携したブランド商品とはどのようなものか。

A 昨年度より、レトルトのリゾットの商品を開発しており、試作品段階だが、良い商品となっている。

Q ブランド商品の最大の売りはどのようなところなのか。

A レトルトタイプで食べやすく、日持ちし易い。また、北海道医療大学との連携の中で、健康に配慮し、さらに町内農産物を活用している。

Q 試食段階はこれからなのか。

A これまでは、医療大学の学生等の試食会を行っており、町民全体の試食会については、これからと思っている。

Q 歳入のまちづくり基金からの繰入金については、道の駅の委託調査

費等に充当する事は可能なのか。

A 既に、まちづくり基金寄付金の中で、道の駅の建設に資する目的として頂いている寄付金の中から、委託費の財源として充当していく考えである。

Q 支出できる種類や事業などの支出する規約等のルールは決めているのか。

A 基金は条例で管理しているが、具体的にまちづくりに資することに活用することとしており、ふるさと納税の寄附金は、町をPRしていく事や農産品の地域ブランドの開発に使う方針で内部的整理をしている。また、道の駅については、町をPRする最大の施設建設であるので、その事に充当していく考えである。

Q 先日、ゆるキャラの募集をしているが、どの位集まっているのか。今月末に投票するとの事だが、今後どのようにPRに活用していく考えなのか。

A 約370点程の応募が来ている。町内の子育てサークルやジュニアリーダー等の意見をいただきながら候補を絞り、9月の末から10月にかけて、投票をしてもらいその結果を参考にしながら、審査会の中で

決定していきたい。その活用については、町の主催するイベント等において、ゆるキャラの着ぐるみ等を作成してPRしていく考えである。

Q ふるさと納税のパンフレットを広くPRするために、同窓会等に配布するような方法を考えては。

A 札幌当別会の同窓会等に出来るだけPR周知するように検討させていただきたい。

Q 今回、寄付金6,000万円を補正した見通しはどうか。予想を遙かに超えた場合の対応は、担当課だけで対応していけるのかどうか。

A 今後の見通しであるが、現在までに4,200万円の寄付を受けており、これまでの実績から今後も寄付が伸びるのではないかと思う。予想を超えた場合の対応であるが、今後も複数の職員で対応しなければならない状況であり、システム導入等の様々な方策も検討していかなければならないと思っている。

## 産業厚生常任委員会

### 町内所管事務調査(平成26年8月25日)



大豆の生育状況の視察



水稲の生育状況の視察



建設中の子ども発達支援センター

#### 主な質疑内容

### 平成26年第4回定例会関係(平成26年9月9日)

#### 経済部関係

Q 商店街街路灯補助、36灯LED化は本通商店街すべての街路灯か。全体事業費はいくらか。

A 本通商店街に設置してある街路灯36灯すべてを対象にしている。事業費は総額436万円である。

Q 道の駅の補正と太陽光発電事業の補正の歳入の財源は。

A 道の駅については、その他財源として街づくり基金を充当する。

A 太陽光発電事業は、事業費が2,500万円、道補助金が1,250万円、町支出が1,250万円である。

Q 道の駅用地測量業務委託は用地を確定させるための測量事業か。

Q(関連)10月末までに基本計画が策定され、11月から業務委託になるが、時間的なズレはあるのか。また11月に入ればすぐ地質調査に入るのか。

A 今回の地質調査、測量は基本設計の中に必要な業務で想定しており、基本設計の業務では、用地を確定させるために地質調査、用地の確定測量が必要になる。基本設計については、基本計画が10月末にできたらすぐ準備を整え11月から動けるように業務委託をかける。地質調査や用地測量も同じタイミングで業務委託をかけるが、基本設計の中で施設の配置をある程度考えた段階で、正式に地質調査、測量の調査に入る。

Q 10月末までに用地が確定し測量が終了しているということか。

A 基本計画の中ではまず位置を確定

させる。敷地の面積は基本設計の中である程度用地を確定させる。地質調査、用地測量を行うのは基本計画の中ではなく、基本設計の動きと合わせて行う。

Q 事業費は基本設計の中で出てくると思うがどれくらいになるのか。

A 概算の工事費は基本設計をする中で出す予定である。現段階では概算の工事費は出ない。

#### 建設水道部関係

Q 除排雪の補正について、今後の冬の体制について、これで充分ということか。

A 今回の補正は、労務単価、燃料単価等の改正部分と平成25年度、3年連続の大雪であったが、その実績が出たことから過去10年間の数値を平均化し、設計数値としているものが、反映して補正対応となった。ここ2,3年の大雪であっても対応できる予算となっている。吹雪時の対応については、回数が多くなるとその分補正の対応が想定される。

#### 住民環境部関係

Q し尿処理の委託について、議会への報告はいつになるのか。

A 事務委託になると議会の議決が必要となり、予定は28年度からの事務委託となるので来年度の適正な時期をもって議会に諮りたい。

#### 福祉部関係

Q 現在、当別の保育所の実情と新しく出た国の基準と比較した場合、現状が国の基準を上回っているのか。

A 今回の条例制定の中で定員につい

ては今より、緩くしたり、厳しくしたりすることを定めているものではなく、道が認可する定員の範囲内で市町村が定員を定めるというものである。

Q 居宅型事業の許可をする場合、保育士が担当するなどの条文が入っているのか。

A 条文の中に、保育士、または保育士と同等以上の知識と経験を有する者となっている。

Q プレイハウス1人あたりの面積は。国の基準は守られているか。

A 新制度では、1人あたり、概ね1.65㎡以上で条例の中で設定しており、これをクリアしている。

Q 国の基準では給食は搬入も認めているが、当別町は。

A 国の基準どおり設定しているので、基準をクリアしていれば認める。

Q 新しい法律で、町の負担が減るといことはあるか。地域型保育給付は当別で実施しているところはあるか。来年4月に認可を受けて事業を始める動きはあるのか。

A 負担について、現在国が1/2、北海道が1/4、町が1/4で、この負担率は変わらない。保育所、幼稚園の定員のバランスによっては補助金が減少する場合があると言われている。地域型保育給付は当別では該当する事業はない。民間事業者の動きもない。

Q 地域型保育給付の事業者が出てきた場合、町として負担分は出てくるのか。

A 制度上、国、道の負担に合わせて、町の負担は発生する。

# 道内所管事務調査 議員研修

## 産業厚生常任委員会道内所管事務調査

(北竜町、剣淵町、恵庭市 8月18、19日)

- テーマ
- ・高齢者向け公営住宅について(北竜町)
  - ・道の駅の運営について(剣淵町、恵庭市)



北竜町の高齢者向け公営住宅の視察



剣淵町道の駅の視察



恵庭市の道の駅で研修

## 総務文教常任委員会道内所管事務調査

(池田町、上士幌町、新得町 10月7、8日)

- テーマ
- ・町立図書館について(池田町)
  - ・ふるさと基金を活用した少子化対策について(上士幌町)
  - ・土曜授業推進事業について(新得町)



池田町立図書館内の視察



上士幌町の研修



新得町の研修

## 平成26年度議会広報研修会(札幌市 8月22日)



ポールスター札幌で行われた研修会

北海道町村議会議長会主催による、議会広報研修会が開催され、議会広報特別委員会委員が参加しました。研修会では、議会広報の役割とあり方、また読みやすい、伝わる紙面の作り方などを研修しました。